

# 認知症と向き合う、 世代を超えた支援の輪

～わたしのこころに必要なのは「あなた」～

この研修会は、フラットなコミュニケーションを通して、異なる職種の多様な視点や役割を相互に理解し、分担・協働しながら、認知症の人が必要とする支援を提供できる地域連携体制を構築することを目的に開催します。

第一部では、東京女子医科大学 名誉教授 岩田 誠氏のご講演「認知症と生きるということ」をキーノートに、認知症基本法に描かれた今後の方向性について、認知症の人と家族の会 前代表 鈴木 森夫氏にご講演をいただきます。第二部では、「認知症を生きる」を支える多職種地域一体となった実践として、西京区・中京区で行っている小学校向けの認知症サポーター養成講座の取組をご紹介します。

いずれも認知症の人にかかわる先生や支援する多職種にとって有益な内容ですので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

参加費  
無料

令和7年

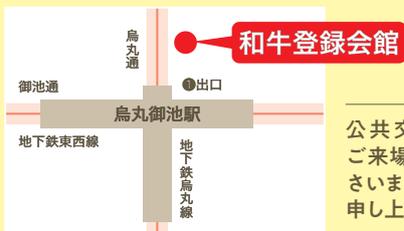
とき

3月1日(土)

午後2時～午後4時  
(受付▶午後1時30分～)

ところ

和牛登録会館 2階 大ホール  
(中京区烏丸通御池上ル二条殿町546-2)



公共交通機関でのご来場にご協力くださいますようお願い申し上げます。

定員

170名

対象

医師、  
医療や介護・福祉に  
関わる方  
※中京区民に限りません

申込み

ホームページ申込フォームまたは、FAXより  
お申込みを受け付けております。

第1部 講演 (14:00～15:05)

「認知症と生きるということ」

東京女子医科大学 名誉教授 岩田 誠氏

「認知症基本法の理念について」

認知症の人と家族の会 前代表 鈴木 森夫氏

第2部 取組発表 (15:15～16:00)

「子どもたち(学校)への認知症の啓発」

西京医師会 副会長 塚本 忠司氏

沓掛地域包括支援センターセンター長 山口 貴也氏

中京薬剤師会 副会長 片岡 礼奈氏

御池地域包括支援センターセンター長 立見 和正氏

受講修了者には京都府から修了証書が発行されます。  
(医師・歯科医師・薬剤師のみ)

- ◆日医生涯教育カリキュラムコード  
13. 医療と介護および福祉の連携：1単位  
29. 認知能の障害：1単位
- ◆日本薬剤師研修センター 1単位申請中

# 認知症対応力向上多職種協働研修会 中京東部・中京西部 (第11回中京区認知症フォーラム)

## ホームページ申込フォーム

右記の二次元コードをお持ちのスマートフォンで読み取ると、  
申込フォームのページが表示されます。



または

検索エンジンにて「京都 在宅医療」で検索し、  
当センターホームページからお申込みできます。

京都 在宅医療



ご不明点がございましたら当センターまでご連絡ください。

## FAX

下記、受講申込書をFAXでも受け付けております。ご都合の良い方法でお申込みくださいますようお願い申し上げます。

|                        |           |       |               |
|------------------------|-----------|-------|---------------|
| 職 種                    |           | 所属地区  |               |
| 氏 名                    |           | 所属機関名 |               |
| メールアドレス                |           |       |               |
| 電話番号                   |           | FAX番号 |               |
| 受講決定通知・<br>修了証書<br>送付先 | 所属機関 ・ 自宅 |       | ※送付希望先を選択ください |
|                        | 〒         | —     |               |
|                        | TEL:      |       |               |

**注意事項** ▶ 定員は170名です。人数を超過した場合にはご連絡いたします。▶ 後日、受講決定通知を郵送いたします。

京都府医師会 在宅医療・  
地域包括ケアサポートセンター

# FAX:(075)354-6097

問い合わせ

京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

TEL:075-354-6079 FAX:075-354-6097 メール:zaitaku@kyoto.med.or.jp